

会議名：令和7年度 第1回 沼津市自転車活用推進協議会

開催日時：令和7年11月14日（金）10時00分～11時30分まで

開催場所：沼津市民文化センター 2階 第1会議室

公開・非公開の別：公開

傍聴者数：0人

|      |                                                                                                                                       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議次第 | 1 開会<br>2 会長挨拶<br>3 委員変更について<br>4 議事<br>(1) 沼津市自転車活用推進計画における令和7年度の取組状況について<br>(2) 沼津市自転車活用推進計画における取組の中間年目標達成状況評価について<br>5 その他<br>6 閉会 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

<出席者>

|    | 氏 名   | 所 属                                      | 欠席・<br>代理出席     |
|----|-------|------------------------------------------|-----------------|
| 1  | 鈴木 美緒 | 東海大学 建築都市学部 土木工学科 准教授                    |                 |
| 2  | 鶴田 卓志 | 東海旅客鉄道(株)沼津駅 駅長                          |                 |
| 3  | 渡邊 一弘 | 沼津バス三社会<br>伊豆箱根バス(株) 三島営業所 所長            | 代理出席<br>岩崎委員代理  |
| 4  | 鈴木 智善 | 静岡県タクシー協会 沼津・三島支部 支部長<br>平和タクシー(株) 代表取締役 |                 |
| 5  | 辛嶋 亨  | 国土交通省中部地方整備局<br>沼津河川国道事務所長               | 代理出席<br>秋葉委員代理  |
| 6  | 花岡 紀恵 | 静岡県沼津土木事務所 企画検査課長                        | 代理出席<br>木ノ内委員代理 |
| 7  | 山内 貴雄 | 沼津警察署 交通課長                               |                 |
| 8  | 佐野 千代 | 沼津商工会議所 総務監理課長                           |                 |
| 9  | 石原 俊雄 | 特定非営利活動法人 沼津観光協会 事務局長                    |                 |
| 10 | 小野 剣人 | 特定非営利活動法人 カケルバイク 理事長                     |                 |
| 11 | 山本 茂雄 | 沼津市自治会交通安全会連合会 会長                        |                 |
| 12 | 河本 秀昭 | 沼津市高校生自転車マナー向上委員会 責任者<br>加藤学園高等学校        |                 |
| 13 | 栗原 浩一 | 公募委員                                     | 欠席              |
| 14 | 本間 宏昌 | 公募委員                                     |                 |
| 15 | 椿 美邦  | 公募委員                                     |                 |

事務局：まちづくり政策課、建設デザイン政策課、生活安心課、ウィズスポーツ課

## (1) 沼津市自転車活用推進計画における令和7年度の実施状況について

令和7年度の実施状況について報告した。主な意見は以下のとおり。

### 目標1について

- ・「自転車まちなかロードマップ」は高校生のみならず広く市民に有用なものであると思う。こういったものを活用して周知することが目標1の成果にも繋がる。

## (2) 沼津市自転車活用推進計画における実施の中間年目標達成状況評価について

目標達成状況評価の指標について見直しを行い、事務局からの提案内容で承認された。主な意見は以下のとおり。

### 目標1について

- ・高校生の出合頭の事故件数が多い。一時停止ができていないなど基本的なルールが守れていないということを再認識し、ルールの周知をしていくことが大事である。
- ・交通安全教室は交通安全協会の実施するものが多い。一つの団体が負担するよりも、色々な団体で回数を増やし、多くの人が交通ルールを知っていることで事故の減少に繋がる。

### 目標2について

- ・令和7年度時点では移動方法の分担率について目標が達成できていないが、設定されている目標はかなり高い。目標を達成できていないのが悪いのではなく、それだけ高い目標を立てていると思ってほしい。
- ・「このシェアサイクルステーションを使うとこのバス停が使いやすい」といった情報があるだけでも違う。インフラ整備だけではなく、ちょっとした工夫でのことも件数としてカウントして欲しい。
- ・自転車とバスを組み合わせた移動を、したことがない人達がやってみようとは中々ならない。このような人向けにはこちらから誘導していかないとニーズが発生しにくい。
- ・自転車とバスの組み合わせで移動がしやすくなるエリアを選定し、試験運用してみてもいい。自転車と公共交通の連携がうまくいっている例を参考に、車を運転できない子どもや送迎が多いエリアで負担軽減を図ることを目的にするとよい。

### 目標3について

- ・開催イベントのうち、サイクルボールカノイチはロードバイクに真剣に取り組んでいる方々向けのハードコースもあり、前回から参加している方も多い。市民向けの自転車教室は中々参加者が集まらないような状況。市民向けの自転車教室については安全運転の観点と組み合わせての実施も考えるとよい。
- ・イベントの実施回数としてカウントしていないが、民間事業者の実施するイベントも多い。そういったものもぜひ共有していけるとよい。
- ・コロナ禍で、外出に適した活動として自転車需要が急増し、参加者数は一時的に増加した。東京オリンピック以前には多くの自転車関連施設が整備されたが、その後東京オリンピックが終了すると使用率が落ち、廃止される施設も出てきている。そのため、サイクリングイベントを継続的に実施し、地域での自転車文化を減らさず維持することが重要ではないか。

#### 目標4について

- ・パートナー事業者（サイクルスポット）は、手を挙げてもらう形式だと知らないままの事業者もいると思う。サイクリングコースは増えていると思うので、コース沿線の事業者に具体的に協力を呼びかけるといい。そうすることで、協力者側も「ここで協力する価値がある」と感じてもらい、参加意欲を高めることが期待できるのではないか。
- ・自転車に乗る方は動画で情報を得ることが多く、写真では伝わりにくい「交通量」や「走行環境」を動画で確認できる。動画制作は費用がかかるが、海岸線走行映像などでは「走っている感覚」を得られたという好評である。
- ・サイクリングに特化せず、ライト層の交通手段としての利用を、観光のホームページに組み込むことで閲覧数の拡大が期待できる。既存の観光の入口を活用し、サイクリングの裾野を広げる戦略が必要と思われる。

以上